



事務局	<p><b>1. 開会</b>  &lt;下水道課長挨拶&gt;  &lt;水道局長挨拶&gt;</p>
会長 事務局	<p><b>2. 会長挨拶</b>  &lt;会長挨拶&gt;  本日の審議会の成立について、  委員総数 8 名のところ、7 名の出席により村上市上下水道事業審議会条例第 6 条第 2 項の規定に基づき、本日の会議は成立することを報告する。</p>
事務局	<p><b>3. 議事録署名</b>  第 1 回目の審議会議事録の内容を確認して頂き、各委員が署名。概要版については委員の皆様を確認して頂き、会長に承認を得て 1 月下旬よりホームページで公開している旨を報告。</p>
事務局 委員 事務局 委員	<p><b>4. 議事</b>  <b>(1) 上下水道料金につて</b>  「下水道料金設定（従量料金）」  「下水道料金（従量料金）のシミュレーションについて」説明…資料下水 1、2 資料 1 の 1、2 ページの平均は加重平均か、単純平均か。  加重平均ではなく、単純に平均したものである。  これを加重平均にした場合というのはこれより上がるのか、下がるのか。</p>
事務局 委員	<p>「村上市（村上）」と書いてある部分の率が高いと上がると思うが。  この表は料金単価を比較したものである。量的なものなどは考慮していない。  資料 2 の 1 ページの下の方にある企業会計方式の適用について、前回の会議資料を読み返してみて、メリットは書いてあったのだがデメリットはなにかあるか。</p>
事務局 委員	<p>総務省から移行するように通達があり、ほぼ義務付けられているようなものだが、デメリットとしては現在より会計処理が難しくなる。  複式簿記の場合は貸借対照表まで作るので財政状況がよくわかる。そういう意味で公営企業も財政状態を正しく把握するために複式簿記にした方がよいという流れになっている。デメリットは少し仕訳が多くなり面倒になるという程度であって、結果的に出てくる資料については有用性が高まるため方向性としては有益だと思う。</p>
会長	<p>PFI 事業を考えた場合、どれくらいの収支があるのか、貸借対照表を前提としてわかりやすい会計情報を提示しておかなければならない。資料 2 の 5 ページの私費負担の部分に新しい設備を導入するときには借入れを行うことになるが、どこまでを公費負担として一般会計に繰り入れられるかがとても重要になる。  料金を低く抑えすぎでは持続可能なライフラインとしての意義が薄まり、高めに</p>

<p>委員</p>	<p>設定したのでは市民の皆様の納得が得られない。しかし人口が減っていくため、料金収入も減っていくので少し高めに料金を設定しておかないと将来が心配になる。これから企業会計に移行して財務状況が明らかになってから従量料金を改定するのも一つの手だと思う。</p> <p>資料2の4ページの財源の図の中で、建設事業費の地方債の部分が下水道使用料で賄う私費負担で、全て黄色で塗られている。自治体により違うと思うが元利償還金の最大7割相当は交付税措置されるため、最大7割は一般会計が負担すべき経費となる。</p> <p>それを踏まえ5ページを見ると、支出の方の使用料対象外経費である緑色の部分の21億円に対して地方債の地方交付税負担分が一般会計繰入分として入っている。先ほどの説明だと私費が13億円強なので、それ以外の公費負担分について4ページと照らし合わせてミスリードにならないような書き方をしてもらいたい。</p>
<p>事務局</p>	<p>4ページの地方債にあたる部分については、元利償還金の約4割が交付税算入されることになるが、地方交付税として市に一括して入るため実際の金額は把握していないが、今後は確認する。</p>
<p>委員 事務局</p>	<p>交付税というよりは公費負担分だが、地方債全部が黄色にはならないと思うが。7割相当は公費なので3割は使用料で賄う。緑色の部分の使用料対象外経費のところが資本費の公費負担の対象も含んでいることになる。5ページの表のところに米印等で注記すると分かり易いと思う。</p>
<p>委員</p>	<p>今の議論が理解できなかった。維持費はわかるが、使用料対象外経費と資本費の違いがわからない。使用料対象外経費は資本費ではないのか。なぜ元利償還金7割相当が公費負担となるのか。資本費と使用料対象外経費っていうのは本来一体のものなのか。</p>
<p>委員</p>	<p>下水道の場合は雨水の処理が入ってくるので、正確な雨水の量が把握できないために理論的な数字の計算により、雨水処理相当分を勘案すると最大資本費の7割は一般会計繰り出し金、つまり税金で賄うという考え方になる。それが、5割、6割、4割というように負担割合が区分によって分かれる。</p> <p>支出で見ると青色と緑色の部分24億円は維持管理費以外の部分となるので、使用料の対象から外し、財源として一般会計から負担することになる。</p>
<p>事務局</p>	<p>今の説明のとおり、維持管理費と元利償還金の合計が汚水処理費になる。青色の部分と緑色の部分はどちらも資本費だが、税金で負担すべきところが緑色である。</p>
<p>会長</p>	<p>他に質問はないか。資料2の13ページの料金算定期間については平成30年目前であるが、平成30年度に改定することによろしいか。</p>
<p>事務局</p>	<p>30年度に基本料金が統一されるが、従量料金の改定はあくまでも審議会の結果が基準となる。平成30年度から改定しようとは思っていない。</p>
<p>会長</p>	<p>従量料金の改定は何年度から予定しているのか。</p>

事務局	<p>改定する年度も含めて何通りかのシミュレーションを考えており、最低3年と5年の2パターンはつくらないといけないと考えている。</p> <p>当然、維持管理費部分を使用料で賄うべきと考えているが、下水道事業は早い地区で昭和60年から供用を開始し維持管理を行っており、年数が経過し更新工事もお金がかかる時期になっている。平成27年度の下水道法改正に伴い、事業計画が維持、修繕、改築を含むものへと拡充された。平成32年度までにストックマネジメントによる計画を策定する予定としているが、耐用年数が経過したものを全部直すのではなく、急ぐものは急ぐ、我慢できるものは我慢しなければならないと考えている。一斉に施設を直すと費用がかさみ、結果として使用料が多くかかってしまう。合併から10年を経過して合併時より維持管理にお金がかかってきているので、その辺を考慮しながらご審議いただければと考えている。</p>
会長	<p>3年程度の期間を見込んで料金設定するのが妥当と思うが、前回の検討委員会の時は基本料金を高く、従量料金を安く設定したと思うが、立方あたり170円というのは市民にとってはどう感じられるだろうか。</p>
委員	<p>従量料金については、旧村上地区は110円、これを170円にしたいという原案だと思うが、神林地区を見ると200円のものを170円に下げ、同じように設定すると村上地区の事業負担がかなり大きな負担になる。水道の利用者、下水道の受益者代表の委員もいるが、それに対していいのかどうなのか。</p>
委員	<p>正直なところ、私は個人事業者なので大変かなというのはある。それだけ上がるとなると段階的な値上げであっても追いつくのが大変だと思う。</p>
会長	<p>料金人口の多いところを段階的に上げていくのか、それとも一定期間で上げるのかはよく検討する必要がある。</p>
委員	<p>それをある程度事務局でシミュレーションしてほしい。</p>
会長	<p>村上市から出ていく人を考慮してシミュレーションしてもらえるといいと思う。</p>
委員	<p>資料2の4ページ、5ページを見ながら、少しでも安くないかなと思っている。値上がりは非常に負担ではあるが、少しでも値上げを理解しようにもシミュレーションしてみないとなかなか理解できないところがある。</p>
会長	<p>シミュレーションも次回お願いしたいという話があった。3年パターン、5年パターン、ちょっと水を多く使うような事業者にはどれくらいの負担があるのか、市の財政も考慮しながら従量料金のシミュレーションをしていただけるといいかと思う。</p> <p>他に質問はないか。</p>
委員	<p>資料2の5ページのところの収入が使用料と一般会計繰入金等と分かれているが、これは28年度の現状か。従量料金を170円にするとこれがどう変わるのか資料は作っているか。この数字が170円だとどう変わるのかを見てみたい。もしかするともっと安くできるとか、高くしないといけないとかという話になるかもしれない。</p>

委員 委員	<p>それを試算すれば従量料金をいくらにするかはおのずと見えてくるのではないか。          どんなところから 170 円という単価になったのか。</p> <p>本来は維持管理費と資本費が使用料対象経費であり、使用料対象経費は使用料で賄うべきであるが、そこまで賄うとなると高料金とならざるを得ない。先ほどの事務局の説明では維持管理費を料金で賄うという説明だったので、維持管理費を賄うためには 170 円必要だというように理解しているが。</p>
委員 会長 事務局	<p>9 億 9,800 万円を賄うということか。</p> <p>そのような考え方でよろしいか。</p> <p>あくまでも前回の検討員会において、基本料金 1,500 円で従量料金が 170 円の場合に維持管理費が賄えるという試算である。</p>
会長 事務局 委員	<p>シミュレーションしてみないとわからないということか。</p> <p>シミュレーションしないとわからないというのが現状である。</p> <p>今後、5 年先、10 年先の水道の使用量を人口から算出できると思うが、その予測使用量によって資料 2 の 5 ページの表がどう変わるか見ることはできるか。</p>
事務局	<p>10 年先となるとちょっと不透明な部分はあるが、可能かもしれない。地区ごとの使用水量の合計で試算をすれば大体の数字は出るかもしれない。</p> <p>参考までに言えば、例えば山北地区で人口減少が激しくなっていて、それに伴って使用水量もマイナスになっているが維持費は多くかかっている。大きな地区がそのような影響を受けるということも考えていかないといけないと思う。</p>
委員 会長 事務局	<p>年間で 1,000 人くらいずつ減っているようだが、水道の使用量も減っていくと思う。そうした場合、大体どうなるのかを見たい。170 円が妥当なのかどうかとか。</p> <p>何となくでもわからないか。</p> <p>農業集落排水、公共下水道と施設がたくさんあるが、処理場の統廃合などを行って合理化を進めて経費削減に努めていく。また人口が減少している中で、今ある処理場が大きすぎるということも考えられる。今後も色々な面で効率的な投資を行い、維持管理経費が少なくなるような検討をしていきたい。</p>
委員 事務局 会長 事務局	<p>参考までに 28 年度の決算ベースで計算すると、汚水処理にかかった単価は立方あたり 179.75 円となっている。</p> <p>それは維持費の部分での計算か。</p> <p>そのとおり。</p> <p>了解した。</p> <p>平成 32 年度から企業会計に移行する予定となっている。資料 2 の 8 ページに説明があるが、官庁会計の場合は元利償還金から公費負担分を計算する。企業会計に移行すると、この部分が減価償却費に変わってくる。減価償却費がいくらになるというのは見込めないので、32 年度以降の公費の負担分がいくらになるというのは今現在の官庁会計のやり方で計算する。</p>

会 長	了解した。それでは3年から5年のシミュレーションで考えたいと思う。
委 員	5年というのは30年度からか。
会 長	30年度はすぐに来るので、維持管理費関係は最新のものが良いと思うので28年度ベースで考えてほしい。
委 員	料金改定をどのタイミングで行うのか。料金の改定議案を議会に出す時期や広報の期間などを考えると32年度くらいになるのでは。
会 長	料金改定時期についてのシミュレーションは32年度から3年、5年の収支で考えるのが妥当だと思う。試算する単価については170円ベースでどうだろうか。汚水処理にかかった単価が179円くらいということなので180円の試算も欲しい。それぞれ試算して比較検討していければいいと思う。
事務局	それと、市内の接続率の低さはどのような理由からなのか。 一番多くの人口を持っている村上地区の整備が平成30年度で終わるので、これから段々上がっていくものと考えている。工事完了後3年以内に接続して頂けるようお願いはしている。どこの地区もそうだが、大体8割から9割くらいは接続してもらえが、その後は頭打ちで、残りの1割、2割は高齢者だけの世帯や施設や会社などが多く、なかなか接続してもらえない実態がある。
会 長	30年度完成ということは32年度頃から接続率が高まってくるということか。
事務局	高齢者世帯や施設に関してはなかなか接続率が上がらない。訪問をして接続のお願いをするなどの方策もとっているが難しい。それが更に累進制となると水を多く使う会社や施設に負担がかかり、理解を得るのが難しくなる。
会 長	使えば使うほど単価が上がるとなれば会社としては加入しづらいと思う。市として今一番考えていることは接続率を上げるということか。
委 員	維持管理費のことを考えれば、どうしても値上げをしなければいけないというのは理解できるが、どのくらいの金額なら承諾できるかは資料を出してもらって皆さんで考えていかなければならないと思う。
会 長	累進制の場合、どのくらい使えばどのくらいの料金になるとかの資料を示してもらおうとわかりやすい。イメージがわからないと思うので次回資料をお願いしたい。
事務局	累進制の水量の区切り方は、村上市に隣接する胎内市や近隣の新発田市の水道料金の例をみると10立方までは基本料金となっていて、11から30、31から50、50から100のような区切り方になっているが、そのような形でよいか。
会 長	他市にならって出してもらってよいと思う。
委 員	それに併せて区分別の使用者数を算出してもらって、それを基に区分を検討したほうが良いと思う。
事務局	それと大口の使用者の接続率について、未接続の使用者が多いとの話があったと思うが。 大半の方がすでに合併処理浄化槽や単独浄化槽を使っており、下水道に接続した

	<p>場合の費用と比較すると、累進制の場合は接続してもらいにくいのではないかと思います。</p> <p>接続してもらってから料金を上げるのもいかなものかとは思いますが、まずは接続してもらった方が優先なのかなと思っている。</p>
委員	<p>大口の方がどのくらいいるのかわからないが、少ないようであれば接続率には直接関係してこないのではないかと思います。累進制を採用すれば料金が低い地区の大口使用者があまり水を使わなくなるかも知れない。</p>
会長	<p>議論も進んできたのでまとめに入るが、料金算定期間については平成 32 年度から 3 年と 5 年の 2 パターンで試算をお願いする。</p> <p>次に累進制については、採用した場合に現加入者の使用量抑制や加入促進に悪い影響を及ぼしかねないので、定額制で接続促進を図り料金収入の確保に繋げてはどうか。従量料金は定額制で、最新の決算によると 180 円が良いのではとの意見もあったのでシミュレーション結果を見て調整していく方向でよいか。</p>
事務局 会長	<p>では料金のシミュレーションは 170 円と 180 円の 2 パターンでよいか。</p> <p>前年度の決算で汚水処理にかかった単価が 179 円ということなので、180 円でよい。</p>
事務局 会長	<p>消費税込みの 180 円でよいか。</p> <p>その単価でお願いします。</p>
事務局	<p>平成 20 年 4 月から昨年 4 月までの公共下水道と農業集落排水を合わせた水洗化率の資料を配布したので、時間のある時にご覧いただきたい。</p>
事務局 委員	<p>「水道料金設定（従量料金）の考え方について」説明…資料 水道 1</p> <p>経費の回収率を上げるために、有収率をアップさせる必要があるかと思うが、具体的にどのような取り組みを考えているか。</p>
事務局	<p>今のところ、漏水調査をスポット的に行うことが第一と考えている。それと、水道法の改正で予定されている水道台帳作成作業を行って、重要管路や老朽管などの位置を明確にし、計画的な更新を行っていくことで、有収率が上がっていくものと考えている。</p>
委員	<p>今現在、漏れている箇所の子測については、簡易水道の箇所が多いのか、そのへんはわかっているか。</p>
事務局	<p>具体的にいうと朝日地区の有収率が大幅低くなっている。更に地区を仕切って、夜間配水量が多い地区を特定して漏水調査をかけていくことも考えている。</p>
委員 事務局	<p>4 ページの使用料で 0 と 1 が多いのは、空き家が多いということか。</p> <p>やはり、人口減少が大きな要因であるが、常に住んでいない住宅で、お盆と正月などに帰ってくるような、空き家状態の住宅も多くなっている。</p>
委員	<p>空き家の漏水が、テレビでも報道されているが、空き家の漏水の対応状況はどうなっているか。</p>

事務局	<p>村上市でも配水量がかなり増えている。原因は空き家の漏水が大変多くなっている。各地区の区長さんにお願ひし、不在住宅の漏水の確認をしていただき、実際に漏水を発見し、対応した事例もたくさんあった。佐渡市でも原因となっているのは空き家で、新聞で報道されている通りである。</p>
事務局 会 長	<p>「水道料金（従量料金）のシミュレーションについて」説明…資料 水道 2 1 ページの算定期間について、平成 32 年から 36 年までの期間で設定しているが、この 5 年間で設定した考え方と、市としてどの程度の収入を確保したいのか、具体的な数字は押さえているか。</p>
事務局	<p>4 ページの村上地区のシミュレーションパターンで改定する場合は、現行の料金収入よりも、減ることになる。人口減少分も見越して総体的に少し値上げをし、できれば経常収支比率で 110 程度を確保していきたいと考えている。管路の老朽化も今後進んでいくため、更新経費が負担となってくる。それに見合う料金収入の確保が必要となる。流動比率が低い、将来的には更新に備えて内部留保資金を確保していきたいと考えている。ある程度の余裕がほしいが、今の段階では上げられないので徐々に状況をみながら考えていきたいと考えている。</p>
会 長	<p>期間については、3 年から 5 年が標準的な期間となっているが、基本料金統一にも 5 年かけており、水道局としては平成 32 年から 5 年くらいが妥当と考えている。</p>
委 員	<p>期間については平成 32 年からとする。</p> <p>料金改定をする際に、上下水道料金が一気に上がるスケジュール案となっているが、上水道と下水道は同じ時期に改定するのか、あるいは、ずらすことも選択肢としてあるのか。従量料金の統一についても、一回で統一するのか、期間を設けるのか。</p>
事務局	<p>従量料金の統一については、水道局として現時点では 1 回で統一したいと考えている。</p>
委 員	<p>31 年に消費税が上がるが、それをシミュレーションの中に入れて考えるか。</p>
事務局	<p>水道の場合、税抜きが基本であるので、税抜きで出すことも税込みで出すことも、どちらも可能である。</p>
委 員	<p>今考えている A、B、C のパターンが逓増料金のパターンではあるが、大口使用者のことも考えるとシミュレーションパターンについて A、B、C、単一とは考えられないか。</p> <p>それと、水道料金算定要綱に沿った形で試算した場合に従量料金がいくらになるのかは計算しないのか。</p>
事務局	<p>今回は、合併して 10 年経ったが、今だに料金の統一ができていない。検討委員会のときにも話はしてあるが、改定の前に、まずは統一を先行して行って、当面 5 年間必要などの経費を賄える程度を確保し、いずれは改定をする考え方でいきたい。</p>
会 長	<p>パターン A、B、C が示されているが、このようなパターンでよいか。世帯数が変わらなくても世帯構成人数が変わってくると思うが、そのことを考慮して、シミュレーシ</p>



<p>委員</p> <p>事務局</p> <p>会長</p>	<p>ョンをしてほしい。</p> <p>他に次回までに出してほしいシミュレーションはあるか。</p> <p>料金は、黒字を保つ程度で試算していただきたい。</p> <p>前回、職員体制について質問したが、新聞報道を見ると平成 27 年の下水道法改正で下水道管理の広域化や共同化などの検討について報道があるが、日本下水道事業団との災害協定の紹介もあったが、かなり協力体制が整ったと考えてよいか。</p> <p>現在、広域化は考えていないが、たとえば上水道と下水道がひとつの課になった場合、村上市としても全体数が少ない中で、人員を融通し合うことも考えられる。</p> <p>他に質問がなければ、これで本日の議事を終了する。</p>
<p>事務局</p>	<p><b>5. 次回の審議会日程について</b></p> <p>次回の審議会日程については、各委員のご都合をお聞きしたうえで決めさせていただきます。</p> <p>今のところ 5 月頃を考えている。</p> <p><b>6. その他</b></p> <p><b>(1) 事務連絡</b></p> <p>〈事務局より委員の報酬及び旅費について説明〉</p> <p><b>7. 閉会</b></p> <p>〈副会長挨拶〉</p>